

国立ハンセン病資料館研究紀要・執筆要項

1. 内 容 本紀要是、当館職員が事業に伴う調査・研究等の成果を報告・公開する場とする。または当館の事業の目的に即した内容を有する研究論文等を掲載する場とする。原則として他出版物に未掲載のものとする。

2. 種 別 当館の事業目的に即している限り、掲載文章の種類・分量にとくに制限はもない。が、目安として下記のとおりとする。

- ①研究論文：400字詰め原稿用紙40枚～80枚程度
- ②研究ノート：400字詰め原稿用紙20枚～40枚程度
- ③書評：400字詰め原稿用紙20枚～40枚程度
- ④資料紹介・研究動向：400字詰め原稿用紙10枚～30枚程度
- ⑤評伝・聞き書き：400字詰め原稿用紙10枚～30枚程度

3. 構 成 原稿に最低限必要な構成要素は以下のとおりとする。

- ①研究論文：題名、著者名、本文、脚注、引用・参考文献
- ②研究ノート：題名、著者名、本文、脚注
- ③研究動向：題名、著者名、本文、脚注
- ④資料紹介・研究動向：題名、著者名、本文、脚注

なお日本語以外の言語で全文訳文を付す場合は著者名と共に訳者名を明記すること。

4. 提出論文書式

本文…A4用紙縦、横書き、1段組、40字×30行

脚注…参考文献と共に文末一括記載すること（掲載時は該当箇所ページ末とする）。

原則として以下の例に倣う。

a. 脚注…本文該当箇所に■■■⁽¹⁾当箇所と示し、脚注欄に以下の書式で記載。

(1) ■■■■■■■、■■■■■■■。

b. 引用文献・参考文献…原則として下記の例に従う。

単行書 著者もしくは編者『書名』（出版社もしくは発行者、発行年）

論文 著者「論文名」（編者『書名もしくは雑誌名』出版社もしくは発行者、発行年）

なお引用の場合は該当ページを記載すること。

引用・参考文献を脚注内に記載する場合は、別途記載する必要はない。

図表・写真…図・表・写真等は本文と別に作成し、挿入希望箇所および掲載にあたっての留意事項を、本文中に指示（プリントアウトした原稿等）に記載する。

図・表・写真等の題名は本文と別途作成し、挿入箇所と共にプリントアウトした原稿に記載する。

図・表・写真等は加工せずに製版可能なもの（完全版下）とする。

図・表・写真等の大きさは版組時に各原稿種別の相当ページ範囲内に収まるように設定する。

5. 投 稿 言語：日本語。ただし全文日本語訳・訳者名を添付し提出する場合はその他言語でも可。

送付：①メール添付ファイルにて送付（ワード、一太郎、テキスト形式のいずれか）

②郵送の場合は、CD-ROM等のデジタル媒体にワード、一太郎、テキスト形式のいずれかで保存したものを1点提出。

原稿は、国立ハンセン病資料館内 研究紀要編集担当宛に、メール添付送付ないし郵送する。

原稿の返却：投稿された原稿は返却しない。

投稿者：原則として当館職員に限る。

但し研究紀要編集担当が、依頼した場合は、この限りでない。

6. 校 正 著者校正は、原則として初校のみとする。

7. 採否と審査 論文の採否にかかる審査は、必要に応じて当館運営委員が査読を行い、体裁については研究紀要編集担当（学芸課）が決定する。

8. 著作権の所在

掲載された著作物の著作権（財産権）は国立ハンセン病資料館に帰属する。

9. その他の 上記の内容以外の事項については、研究紀要編集担当（学芸課）が決定する。